

## 1. 調査の概要

### 1) 調査の目的

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、人々のスポーツ活動の機会が奪われている。また、感染封じ込めのための人と人との接触を減らす取り組みを通じて、多くの国民の身体活動量・運動量が大きく減少することが危惧されている。こうした環境下で、国民の身体活動・運動の実施状況やスポーツ観戦等のニーズがどのように変化しているのかを調査する。

### 2) 調査対象

全国の市区町村に在住する 18～79 歳までの男女 5,000 人(5,000 サンプルが地区ごとの性別・年代別人口構成比率に近似するよう割当)

### 3) 調査方法

- 1) 調査手法: インターネット調査
- 2) 調査委託機関: 株式会社クロス・マーケティング

### 4) 調査時期

2020 年 10 月 1 日～10 月 6 日

### 5) 主な調査項目

基本属性\_居住地、性別、年齢、職業、世帯年収、配偶者・子どもの有無等

- 1) 2020 年 6～9 月の運動・スポーツ実施状況
- 2) 新型コロナウイルスの影響により中止した運動・スポーツの状況
- 3) 運動・スポーツの再開状況
- 4) 新型コロナウイルスの影響による生活環境の変化
- 5) 新型コロナウイルスの影響による、運動・スポーツ環境の変化
- 6) 過去 1 年間のスポーツ実施・スポーツ観戦形態に関する経験の有無と今後のニーズ
- 7) スポーツ観戦状況(直接スポーツ観戦、テレビやインターネットによるスポーツ観戦)
- 8) 2020 年 6～9 月の直接スポーツ観戦実施者からみた各種対策への評価、非実施者が期待する対策
- 9) テレビやインターネットでの観戦日数
- 10) 運動・スポーツ実施時に気を付けていること
- 11) 運動・スポーツを実施しない理由
- 12) 東京 2020 オリンピック・パラリンピックについて
- 13) 身の回りの感染者について
- 14) 新型コロナウイルス影響下におけるスポーツ以外の余暇活動の行動回数

### 6) 調査の実務担当者

笹川スポーツ財団 スポーツ政策研究所 政策オフィサー 鈴木 貴大  
// 清水 恵美